



ニュースレター創刊に あたり



学長メッセージ

大分大学における女性研究者支援体制の
スタートにあたって

大分大学 学長 羽野 忠

このたび、平成22年度文部科学省科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成)に申請していました「地域社会で育む『輝く女性研究者』支援」が採択され、本学における女性研究者支援体制がスタートすることとなりました。申請書作成にあたられた全学WGの皆様、心より感謝申し上げます。

申すまでもないことですが、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国における最

重要課題です。しかるに本学における共同参画の実現、とりわけ女性研究者を取り巻く状況は、十分とは言えません。たとえば、大学院生に占める女性比率は25.9%、学部学生に占める比率は39%とそれなりに高いにもかかわらず、教員に占める女性比率は15.6%と低く、早急な改善が求められています。

本学は今回のプロジェクト採択を機に、男女共同参画推進本部を設置するとともに、そのもとに女性研究者サポート室を設置しました。また「大分大学男女共同参画推進宣言」を定め、男女共同参画社会の実現に向けて、具体的な行動計画を推進することとしました。すなわち、男女共同参画推進体制の拡充、教育・研究・就業の場における男女共同参画の推進、家庭生活と教育・研究・就業との両立支援、大学運営における意思決定への男女共同参画の推進、および地域社会との連携を通じた男女共同参画の推進に取り組みます。これらの改革は一朝一夕に成しとげられるものではありません。女性研究者サポート室の皆さんはじめ全学の力を結集して、早期の実現を図りたいと思います。どうぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。



室長メッセージ

女性研究者サポート室長 松浦 恵子

平成22年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に、大分大学の「地域社会で育む『輝く女性研究者』支援」が採択されたことにより、平成22年年7月26日に大分大学女性研究者サポート室が設置されました。また同じ時期に大分大学男女共同参画推進本部も設置され、大分大学で女性研究者を支援する事業が始まりました。男女共同参画とは何か、なぜ女性研究者支援が必要か、どんな支援がどのキャリアパスに必要なか、研究者としてキャリアアップするため何が必要か、これから皆様とともに知恵を絞り、さまざまな情報を共有していきたいと思ひます。

大分大学女性研究者サポート室“FAB”では、“fabulous(すばらしい)”な女性研究者を育むために、4つの柱を掲げました。1. キャリアサポートとして、研究を支援し、女性研究者比率の上昇を目指します。2. 環境サポートとして、育児や研究環境を整えていくお手伝いをします。3. 情報サポートとして、広報活動のほか、啓発活動や情報交換につとめます。4. 地域連携サポートとして、地域との連携をはかります。これら4つの柱のもと、学部の垣根を越えて、女性研究者の育成のため、さらには女性だけでなく男性も、大分大学での研究が発展し、輝ける研究者として発信できることを目指していきたいと考えております。大分大学女性研究者サポート室“FAB”は、これから皆様とともに歩み始めます。どうぞあたたかいご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

女性研究者 サポート室 “FAB” とは

大分大学の現状

大分大学は4学部(教育福祉科学部、経済学部、医学部、工学部)および5大学院研究科(教育学研究科、経済学研究科、医学系研究科、工学研究科、福祉社会科学研究科)から構成されています。平成22年5月現在、学部学生のうち女子学生の比率は39%を占めていますが、修士・博士課程での女子学生の比率は25.9%となり、女性教員においては15.6%を占めるにすぎない状況です。

この原因を探るため、平成22年2月に女性研究者を対象に「女性研究者支援に関するアンケート調査」を実施したところ、すべての回答者が女性研究者に対する研究環境整備及びキャリアアップ支援が必要だと記入しています。特に必要な支援として、環境整備では、男女を問わない育児・介護休暇取得の促進や勤務体制の柔軟化、また、研究支援に関しては、研究補助員の雇用や研究中断後の助成を求めています。

開室の背景

平成22年度の文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に、「地域社会で育む『輝く女性研究者』支援」が採択されたことを受けて、大分大学男女共同参画推進本部を設置するとともに、室長には本学で初めて女性の学長特別補佐を任命し、女性研究者支援の取組みに本格的に着手しました。

サポート室の目的

全学部を対象とし、研究環境の整備や意識改革など、女性研究者が研究と出産・育児等の両立や、その能力を十分発揮しつつ研究活動を行える仕組みを構築することを目的とします。

名称FABについて

“FAB”とは Female Academics at Bundai です。Bundaiは、大分大学の略称“分大”のことです。また、“FAB”はfabulous(素晴らしい)のダブルネーミングです。

旦野原キャンパスおよび挾間キャンパス 休憩室&相談室 開室に向けて

旦野原キャンパスおよび挾間キャンパス内において、『休憩室&相談室』の開室準備中です。開室は平成23年1月を予定しています。

休憩室は、勤務中の体調不良や妊娠・産後等で気分のすぐれない方にご利用いただけます。また、搾乳等もご利用可能です。利用方法等詳細につきましては後日ホームページでご案内いたします。

さらに 研究活動を進めていく上での不安や悩み等を相談できるような相談室の体制を整えていく予定です。



▲旦野原キャンパス



▲挾間キャンパス

サポート室の業務

目的を実現するために、以下の業務を行います。

- (1) 研究助成やロールモデル誌の作成
- (2) 多用なニーズに合わせたキャリアパス支援
- (3) 男女協力体制における仕事と育児等の両立支援
- (4) 地域と連携した男女共同参画社会に向けた啓発活動
- (5) 女性研究者の増員促進と管理職への登用の促進

将来目標

男女を問わない
快適な教育研究環境の整備

活動目標

- (1) 女性教員の比率を20%に引き上げる。
- (2) 修士および博士課程学生の女性比率を35%以上にする。
- (3) 挾間キャンパスの「なかよし保育園」において、病児保育を実現する。
- (4) 旦野原キャンパスでニーズを調査し、要望があれば保育園設置のための基盤整備を行う。
- (5) 女性研究者の研究をサポートする研究補助員を配置する。
- (6) 学長裁量経費に女性枠を設け、優れた研究に対して研究費を配分する。
- (7) 毎年、女性研究者10名程度に海外での学会活動、共同研究活動を支援する。
- (8) 「女性研究者サポート室」を設置する(平成22年7月設置)
- (9) 女性研究者データベースを構築する。

活動の紹介

女性研究者サポート室では、主に右図に示す4つの柱において活動し、本学における女性研究者の支援・育成・発展を目指しています。

キャリアサポート

- 研究支援
研究補助員の雇用、メンター制度導入
- 研究活動支援
研究費補助事業の実施、女性研究者賞の実施
- ポジティブアクション
管理職への積極登用促進

支援内容

環境サポート

- 育児支援
育児相談の実施、病児保育の整備
- 研究環境整備
両キャンパスでの休憩室・相談室の整備

情報サポート

- データベース整備
女性研究者データベース作成、アンケート実施
- 広報活動
ホームページ開設、広報誌発行
- リクルート
オープンキャンパス、高校生出前講座
学生進路相談会
- 啓発活動、情報交換
シンポジウム、講演会の開催

サポート4つの柱

地域連携サポート

- 地域研究コンソーシアム大分
- 地域医療学センター
- 県内企業
- 大分県消費生活-男女共同参画プラザ等

女性研究者サポート室スタッフ

協力教員

荻野 千砂子	教育福祉科学部	講師
河野 伸子	教育福祉科学部	講師
安岡 正義	経済学部	教授
雲 和子	経済学部	准教授
井上 亮	医学部	教授
前田 知己	医学部	准教授
石川 雄一	工学部	教授
園井 千音	工学部	准教授
高島 拓哉	福祉社会科学研究科	准教授
守山 正胤	全学研究推進機構	教授
一二三 恵美	全学研究推進機構 (室長指名女性教員)	教授

女性研究者サポート室

松浦 恵子	室長 学長特別補佐 (女性研究者支援担当) 医学部 准教授
安岡 正義	副室長 経済学部 教授
安見 美代子	副室長
奥村 千晶	室員
岡本 幸恵	室員



▲女性研究者サポート室スタッフ



ホームページを開設しました

学内の研究者・職員・学生等の皆様へ、女性研究者支援に関する情報提供を行うためにホームページを11月22日に開設しました。本サイトでは女性研究者のワーク支援やライフ支援につながる情報を掲載していく予定です。ぜひ当HPにお越しください。

URL: <http://www.fab.oita-u.ac.jp>

